



翔

2006 June

No.180

百万石蝶談会

石川県旧輪島市におけるキマダラセセリ

日吉芳朗

旧輪島市（旧鳳珠郡門前町を除く輪島市）におけるキマダラセセリの報告（日吉、1999）は、当時、筆者の手元にあった標本の中の5頭について記したものである。しかし、そこには説明文がないので、ここで若干の補足をしておく。1954年頃、市街地に隣接する一本松公園では、シーズン中には少数ながら目撃できたが、数年後、そばに学校建設が始まるとともに姿を消した。また、1955年9月8日の堀町での個体は、時期と小型であることから第2化と考えられる。

その後、とりわけここ5～6年間、第2化と思われる個体に注意したものの、8月以降に追加記録を得ることができなかった。以下に、1999年以降の採集記録を記す。

1999年7月18日	輪島市四辻峠	1♀	日吉芳朗
2000年7月16日	輪島市高洲山	1♂	日吉芳朗
2000年7月16日	輪島市鉢伏山	1♂	日吉宏朗
2000年7月17日	輪島市鉢伏山	1♀	日吉芳朗
2001年7月5日	輪島市佐比野山	1♂	日吉宏朗
2001年7月14日	輪島市高洲山	1♂	日吉芳朗
2002年7月12日	輪島市高洲山	3♂	日吉芳朗
2002年7月12日	輪島市鉢伏山	1♂	日吉芳朗
2002年7月13日	輪島市高洲山	1♀	吉田弥生
2002年7月20日	輪島市三井町与呂見坂田	1♀	日吉芳朗
2003年6月20日	輪島市町野町大川	1♂	松井正人
2003年6月29日	輪島市石休場町	1♂	日吉芳朗
2003年7月24日	輪島市鉢伏山	1♀	日吉南賀子
2004年7月14日	輪島市三蛇山	1♂	日吉芳朗
2004年7月15日	輪島市高洲山	1♀	日吉芳朗
2005年7月18日	輪島市高洲山	1♀	日吉芳朗

本種は、おおむね7月中旬に、鉢伏山の頂上下および鉢伏山と高洲山とを結ぶ林道高鉢線の高洲山よりの地点に集中的に発生しているように見える。しかし、四辻峠、三井町与呂見坂田、町野町大川、石休場町、佐比野山、三蛇山でも1頭ずつ採集されていることから、輪島市のかなり広い範囲に薄く分布していることが推測される。

《参考文献》

日吉芳朗（1999）石川県輪島市で採集された蝶のリストと未発表記録。翔(138):5-6.

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

石川県珠洲市でシータテハを採集

日吉 宏 朗

石川県珠洲市清水でオヒョウから、シータテハの幼虫と蛹を採集したので報告する。

2005年 7月29日 珠洲市清水藤尾 2 蛹採集 1 幼目撃 (オヒョウ) 日吉宏朗

2005年 7月31日 珠洲市清水藤尾 1 蛹採集 (オヒョウ) 日吉宏朗

7月29日、ウェーダーをはいて清水の川を遡っていると、川に倒れ込んでいるオヒョウがあり、川面すれすれにある太い幹から伸びた枝にぶら下がっている蛹が目に入った。しばらく枝を見回し、もう1蛹と葉上にいる白いトゲのある幼虫を見付けた。7月31日には、この川に沿って走る砂利道脇のオヒョウで、低いところに伸びた枝から蛹を1頭採集した。

《ひよし あつろう 〒928-0071 輪島市輪島崎町3部24》

アサギマダラの涙は肩板から

松 井 正 人

松井(1991)は、アサギマダラの肩付近から、涙のようなきれいな水玉が出てくる事を報告している。マーキングをしていると、日に何頭も、このような個体に出くわし、片方の肩や両肩に水玉があったりする。ちょっと粘つき、アサギマダラ特有の香りがする水玉が、どこから出てくるのか不思議に思っていたが、肩板に乗っていることがわかった。



← アサギマダラの両肩に現れた水玉。水玉は粘り気があって、アサギマダラ特有の香りがする。



↑ 左の写真から、左肩の肩板を取り出したもの。水玉が肩板に乗っているのがわかる。

《参考文献》

松井正人(1991) アサギマダラの涙. 翔(90):11.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

2004年アサギマダラ日記

松 井 正 人

■ 4月25日 スナビキソウ探し本格化

羽咋郡押水町（現在は同郡宝達志水町）、羽咋市、羽咋郡志賀町の海岸で、スナビキソウを探す。スナビキソウは、最も汀線近くに生育し、スナビキソウより陸側には、いろいろな海浜植物が見られた。ハマボッサは何カ所かで咲いていたが、スナビキソウは、まだ蕾。

■ 5月15日 海岸でアサギマダラを初観察

午前9時半、羽咋市一宮海岸でアサギマダラを初観察する。その後、スナビキソウを観察した海岸を回り、8♂にマーキングできた。午後5時に再び一宮海岸に戻ると、9時半にマーキングした個体が、ほぼ同じ場所で観察できた。この時は、スナビキソウの花には目もくれず、踏みつけられたようなスナビキソウに盛んに口吻を伸ばしていた。

今日観察したアサギマダラは少なかったが、春期にアサギマダラが確実に観察できる場所は今までになく、海岸のスナビキソウで観察できることが、初めて分かった。

■ 5月29日 海岸にアサギマダラが大量飛来

前々日、前日と能美郡根上町（現在の能美市）の山口海岸に複数のアサギマダラが飛来しているとの連絡に、大雨の予報にも係わらず調査に出発。5時40分に一宮海岸に着くと、たくさんのアサギマダラが舞っている。6時に雨が降り出すが、マーキングは続行。6時半には大雨になり、マーキングを中断する。その後は降ったり止んだりの状態、降っているときには次の海岸に移動し、止むとマーキングすることを繰り返した。富来町（現在の志賀町）の海岸では、スナビキソウから飛び上がったアサギマダラが強風に飛ばされ、ほとんどマーキングできなかったが、今日一日で、91♂にマーキングする。

山口海岸の飛来状況を、日々連絡いただいている林 宏初さん、ありがとうございました。

■ 5月30日～6月3日早朝調査

自宅から近い、金沢市粟崎海岸と河北郡内灘町内灘海岸で、5時台に早朝調査を実施する。この時期でも、5時台は寒かった。

2004年5月30日 5:00～5:20 両海岸で6♂にマーキング

2004年6月1日 5:00～5:40 両海岸とも観察できず

2004年6月2日 5:20～5:50 両海岸とも観察できず

2004年6月3日 5:20～5:50 両海岸とも観察できず

■ 6月5日 海岸パラソル大作戦

早朝から海岸調査を行い、鳳珠郡門前町深見（現在は輪島市）の海岸に着いたのは10時50分。この時間になると海岸は暑くてたまらないが、アサギマダラは、次から次と飛んで

きた。岩から冷たい水が染み出し、この周りのハマボスやスナビキソウに集まってくる。水が流れる岩肌に止まるものもいた。日陰が全くなく暑くてたまらず、車に積んであった雨傘で涼を取りながらマーキングをする。それでも暑くてたまらず、12時30分には背後の森に涼みに入ると、オオカモメヅルから卵が見つかった。海岸ではむしろ観察されないが、♀も付近にいるのは間違いない。

■ 6月13日 アサギマダラの第3食草を確認

アサギマダラは、ツルガシワを食草として利用していると常々考えていたが、なかなか調査の機会に恵まれず、ようやく願いが叶った。林 二良さんから教わった生育地に行くと、でかい葉にアサギマダラ特有の丸い食痕がいくつも付いていた。三箇所調査を行い、幼虫、卵共に多数を観察。同時に、イケマとオオカモメヅルからも幼虫、卵を観察し、ツルガシワは、これら食草と同程度に石川県で利用されていることが分かった。

ツルガシワの生育地を教えていただいた林 二良さん、ありがとうございました。

■ 7月25日 鉢伏山のマーキングポイントでかぶれる

輪島市鉢伏山のマーキングポイントは、草が背丈以上に伸び、マーキング歩道を覆い隠していた。アサギマダラはいるが、思うように歩けないしネットも振れない。草をかき分けてマーキングを続けていると、いたるところを虫に刺され、首筋がかぶれ、体中がかゆくてたまらない。愛用のキンカンを塗りまくるが、首筋にキンカンを塗ると飛び上がるほど痛い。マーキングを早々に切り上げ、温泉につかる。

首筋に塗る軟膏をいただいた日吉芳朗さん、ありがとうございました。痛くもなく、かゆみは直ぐに取れました。

■ 7月28日 医王山で早朝マーキング

医王山の三千坊から馬の背にかけてアサギマダラが多いとの情報が入り、すぐさま早朝マーキングに出かける。場所は、医王山の富山県西砺波郡福光町（現在の富山県南砺市）側で、林道沿いのヨツバヒヨドリに多いらしい。ところが、現地は草刈りが行われた直後のようで、林道脇にヨツバヒヨドリがほとんどない。林道からちょっと離れた場所には、ヨツバヒヨドリが部分的に残り、アサギマダラが飛来していた。6時から8時までの2時間に、29頭にマークする。



■ 8月7日 尾口村でマーキング

尾口村（現在の白山市）の一里野周辺には長い林道がいくつかあり、標高1000m以上に簡単に達することができる。一里野スキー場から比較的道の良い檜倉に入ると、サル群れに遭遇したものの、アサギマダラの群れには遭遇できなかった。しかたなく、目附谷

橋から、とんでもない悪路を走り、荒谷の上流部に向かう。午後1時くらいまでは日陰の場所があり、ヨツバヒヨドリにアサギマダラが群れていた。一時小雨が降ったものの、アサギマダラは構わず飛んでいた。両方で、100頭にマークする。

■ 9月5日 宝達山のマーキング会準備でメガネが吹っ飛ぶ

午前中は大雨。午後から小雨になったので、宝達山にマーキング看板3枚を設置。時間があつたので、網を振りやすいようにと林内を整理していたら、投げた木の枝が顔に当たって、メガネが吹っ飛んだ。メガネがないと5センチ先しか見えないので、「山の龍宮城」に何とかたどり着き、救助を求める。雨でびしょびしょの林内を1時間半も探してくれたが、見付からなかった。

メガネを探していただいた山田啓次さん、ありがとうございました。

■ 9月6日 宝達山のマーキング会スタート

午後から宝達山。下界の気温は30度でも、頂上は23度とさすがしい。ブナ林の中はアサギマダラが群れ、マーキングしていると、メンバーが集まってきた。

■ 9月12日 宝達山にアサギマダラが大乱舞

アサギマダラの大乱舞に、宝達山では一般参加の27人が188頭にマークする。今日の下界気温は30度を越え、頂上は24度。アサギマダラも涼しい山へ避暑にきたのだろうか。気温が20度だった前日は、ほとんどいなかったが、4度の差でこれだけ違うのだろうか。

■ 9月17日 宝達小学校のマーキング会

午前中は雨との予報に、学校にお願いし、急遽午後のマーキングに切り替える。雨は降らないものの、日が差さず、宝達山の気温は20度以上にあがらない。アサギマダラが飛ばず、マーキングできるのかと心配していたが、あにはからんや、子供達はどこからともなく採集してくる。アサギマダラが少ないせいか、ネットや白タオルの使い方がうまくなっている。みんなで26頭にマークする。

■ 9月18日 フェーン現象でアサギマダラが乱舞

宝達山は、フェーン現象のあおりで頂上の気温は23度に上昇し、アサギマダラは絶好調でブナ林を飛び回る。土曜日なので一般参加も多く、24人が104頭にマークする。

■ 9月26日 マーキング会の最終日

下界は晴れているが、宝達山は雲の中。頂上の気温は18度だが、風が強いせいか、寒くてたまらない。こんな日でもマーキングにやってくる人達がいる。しかし残念ながら、1頭も観察できなかった。

輪島市・鳳珠郡門前町の合併に伴う住所表示の変更

螺談会事務局

平成18年2月1日に、輪島市と鳳珠郡門前町が合併し、新「輪島市（わじまし）」が誕生した。この合併に伴う住所表示の変更についてお知らせする。

■合併後の住所表示

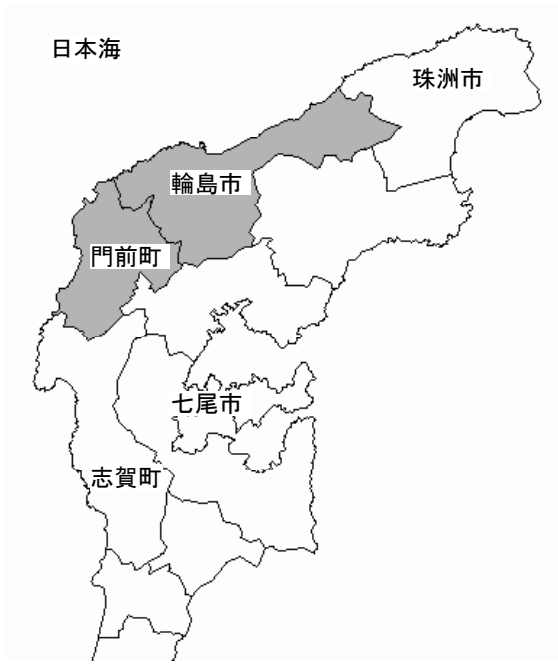
1. 輪島市

旧「輪島市」の住所表示に変更は無い。

2. 鳳珠郡門前町

「鳳珠郡門前町」が「輪島市」に置き換わり、町・字の名称の前に「門前町」が付き、「字」が取れた。

表示例 鳳珠郡 門前町 字 赤神 → 輪島市 門前町赤神
 鳳珠郡 門前町 黒島町 → 輪島市 門前町黒島町



■新旧対照表

旧 名 称	新 名 称	よみかた
鳳珠郡 門前町 字 赤神	→ 輪島市 門前町 赤神	あかかみ
鳳珠郡 門前町 字 飯川谷	→ 輪島市 門前町 飯川谷	いがわだに
鳳珠郡 門前町 字 入山	→ 輪島市 門前町 入山	いりやま
鳳珠郡 門前町 字 鷓山	→ 輪島市 門前町 鷓山	うやま
鳳珠郡 門前町 字 小石	→ 輪島市 門前町 小石	おいし
鳳珠郡 門前町 字 大泊	→ 輪島市 門前町 大泊	おおとまり
鳳珠郡 門前町 字 貝吹	→ 輪島市 門前町 貝吹	かいふき
鳳珠郡 門前町 字 上河内	→ 輪島市 門前町 上河内	かみかわち
鳳珠郡 門前町 字 久川	→ 輪島市 門前町 久川	くかわ
鳳珠郡 門前町 字 腰細	→ 輪島市 門前町 腰細	こしぼそ
鳳珠郡 門前町 字 是清	→ 輪島市 門前町 是清	これきよ
鳳珠郡 門前町 字 椎木	→ 輪島市 門前町 椎木	しいのき
鳳珠郡 門前町 字 浅生田	→ 輪島市 門前町 浅生田	あそだ
鳳珠郡 門前町 字 五十洲	→ 輪島市 門前町 五十洲	いぎす
鳳珠郡 門前町 字 植戸	→ 輪島市 門前町 植戸	うえど
鳳珠郡 門前町 字 浦上	→ 輪島市 門前町 浦上	うらかみ
鳳珠郡 門前町 字 大釜	→ 輪島市 門前町 大釜	おおがま
鳳珠郡 門前町 字 鬼屋	→ 輪島市 門前町 鬼屋	おにや
鳳珠郡 門前町 字 風原	→ 輪島市 門前町 風原	かぎはら

旧 名 称	新 名 称	よみかた
鳳珠郡 門前町 字 北川	→ 輪島市 門前町 北川	きたがわ
鳳珠郡 門前町 字 暮坂	→ 輪島市 門前町 暮坂	くれさか
鳳珠郡 門前町 字 小杉	→ 輪島市 門前町 小杉	こすぎ
鳳珠郡 門前町 字 定広	→ 輪島市 門前町 定広	さだひろ
鳳珠郡 門前町 字 清水	→ 輪島市 門前町 清水	しみず
鳳珠郡 門前町 字 荒屋	→ 輪島市 門前町 荒屋	あらや
鳳珠郡 門前町 字 池田	→ 輪島市 門前町 池田	いけだ
鳳珠郡 門前町 字 内保	→ 輪島市 門前町 内保	うちぼ
鳳珠郡 門前町 字 上代	→ 輪島市 門前町 上代	うわだい
鳳珠郡 門前町 字 大切	→ 輪島市 門前町 大切	おおぎり
鳳珠郡 門前町 字 大生	→ 輪島市 門前町 大生	おはえ
鳳珠郡 門前町 字 鍛冶屋	→ 輪島市 門前町 鍛冶屋	かじや
鳳珠郡 門前町 字 木原月	→ 輪島市 門前町 木原月	きはらづき
鳳珠郡 門前町 字 黒岩	→ 輪島市 門前町 黒岩	くろいわ
鳳珠郡 門前町 字 小滝	→ 輪島市 門前町 小滝	こだき
鳳珠郡 門前町 字 猿橋	→ 輪島市 門前町 猿橋	さるはし
鳳珠郡 門前町 字 神明原	→ 輪島市 門前町 神明原	しめはら
鳳珠郡 門前町 字 安代原	→ 輪島市 門前町 安代原	あんだいばら
鳳珠郡 門前町 字 井守上坂	→ 輪島市 門前町 井守上坂	いもりあげさか
鳳珠郡 門前町 字 窠	→ 輪島市 門前町 窠	うつろ
鳳珠郡 門前町 字 江崎	→ 輪島市 門前町 江崎	えさき
鳳珠郡 門前町 字 大滝	→ 輪島市 門前町 大滝	おおたき
鳳珠郡 門前町 字 鹿磯	→ 輪島市 門前町 鹿磯	かいそ
鳳珠郡 門前町 字 勝田	→ 輪島市 門前町 勝田	かつた
鳳珠郡 門前町 字 切狭	→ 輪島市 門前町 切狭	きりばさみ
鳳珠郡 門前町 黒島町	→ 輪島市 門前町 黒島町	くろしままち
鳳珠郡 門前町 字 小山	→ 輪島市 門前町 小山	こやま
鳳珠郡 門前町 字 四位	→ 輪島市 門前町 四位	しい
鳳珠郡 門前町 字 白禿	→ 輪島市 門前町 白禿	しらはげ
鳳珠郡 門前町 字 新町分	→ 輪島市 門前町 新町分	しんまちぶん
鳳珠郡 門前町 字 平	→ 輪島市 門前町 平	たいら
鳳珠郡 門前町 字 館	→ 輪島市 門前町 館	たち
鳳珠郡 門前町 字 樽見	→ 輪島市 門前町 樽見	たるみ
鳳珠郡 門前町 字 百成	→ 輪島市 門前町 百成	どうめき
鳳珠郡 門前町 字 長井坂	→ 輪島市 門前町 長井坂	ながいざか
鳳珠郡 門前町 字 西中尾	→ 輪島市 門前町 西中尾	にしなかお
鳳珠郡 門前町 字 走出	→ 輪島市 門前町 走出	はしりて
鳳珠郡 門前町 字 日野尾	→ 輪島市 門前町 日野尾	ひのお
鳳珠郡 門前町 字 深見	→ 輪島市 門前町 深見	ふかみ
鳳珠郡 門前町 字 別所	→ 輪島市 門前町 別所	べっしょ
鳳珠郡 門前町 字 南	→ 輪島市 門前町 南	みなみ
鳳珠郡 門前町 字 本市	→ 輪島市 門前町 本市	もといち
鳳珠郡 門前町 字 山是清	→ 輪島市 門前町 山是清	やまこれきよ
鳳珠郡 門前町 字 吉浦	→ 輪島市 門前町 吉浦	よしうら
鳳珠郡 門前町 字 薄野	→ 輪島市 門前町 薄野	すすきの

旧 名 称	新 名 称	よみかた
鳳珠郡 門前町 字 高根尾	→ 輪島市 門前町 高根尾	たかねお
鳳珠郡 門前町 字 館分	→ 輪島市 門前町 館分	たちぶん
鳳珠郡 門前町 字 地原	→ 輪島市 門前町 地原	ちはら
鳳珠郡 門前町 字 百成大角間	→ 輪島市 門前町 百成大角間	どうめきおおかくま
鳳珠郡 門前町 字 中田	→ 輪島市 門前町 中田	なかた
鳳珠郡 門前町 字 西中谷	→ 輪島市 門前町 西中谷	にしなかたに
鳳珠郡 門前町 字 原	→ 輪島市 門前町 原	はら
鳳珠郡 門前町 字 広岡	→ 輪島市 門前町 広岡	ひろおか
鳳珠郡 門前町 字 藤浜	→ 輪島市 門前町 藤浜	ふじはま
鳳珠郡 門前町 字 堀腰	→ 輪島市 門前町 堀腰	ほりこし
鳳珠郡 門前町 字 嶺	→ 輪島市 門前町 嶺	みね
鳳珠郡 門前町 字 本内	→ 輪島市 門前町 本内	もとうち
鳳珠郡 門前町 字 山辺	→ 輪島市 門前町 山辺	やまべ
鳳珠郡 門前町 字 六郎木	→ 輪島市 門前町 六郎木	ろくろぎ
鳳珠郡 門前町 字 清沢	→ 輪島市 門前町 清沢	せいざわ
鳳珠郡 門前町 字 滝上	→ 輪島市 門前町 滝上	たきのうえ
鳳珠郡 門前町 字 谷口	→ 輪島市 門前町 谷口	たにぐち
鳳珠郡 門前町 字 劔地	→ 輪島市 門前町 劔地	つるぎぢ
鳳珠郡 門前町 字 俊兼	→ 輪島市 門前町 俊兼	としかね
鳳珠郡 門前町 字 中野屋	→ 輪島市 門前町 中野屋	なかのや
鳳珠郡 門前町 字 西円山	→ 輪島市 門前町 西円山	にしまるやま
鳳珠郡 門前町 字 馬場	→ 輪島市 門前町 馬場	ばんば
鳳珠郡 門前町 字 広瀬	→ 輪島市 門前町 広瀬	ひろせ
鳳珠郡 門前町 字 二又	→ 輪島市 門前町 二又	ふたまた
鳳珠郡 門前町 字 馬渡	→ 輪島市 門前町 馬渡	まわたり
鳳珠郡 門前町 字 宮古場	→ 輪島市 門前町 宮古場	みやこば
鳳珠郡 門前町 字 門前	→ 輪島市 門前町 門前	もんぜん
鳳珠郡 門前町 字 鍵川	→ 輪島市 門前町 鍵川	やりかわ
鳳珠郡 門前町 字 和田	→ 輪島市 門前町 和田	わだ
鳳珠郡 門前町 字 千代	→ 輪島市 門前町 千代	せんだい
鳳珠郡 門前町 字 滝町	→ 輪島市 門前町 滝町	たきまち
鳳珠郡 門前町 字 田村	→ 輪島市 門前町 田村	たむら
鳳珠郡 門前町 字 道下	→ 輪島市 門前町 道下	とうげ
鳳珠郡 門前町 字 栃木	→ 輪島市 門前町 栃木	とちのき
鳳珠郡 門前町 字 中谷内	→ 輪島市 門前町 中谷内	なかやち
鳳珠郡 門前町 字 能納屋	→ 輪島市 門前町 能納屋	のうのや
鳳珠郡 門前町 字 東大町	→ 輪島市 門前町 東大町	ひがしおおまち
鳳珠郡 門前町 字 深田	→ 輪島市 門前町 深田	ふかだ
鳳珠郡 門前町 字 二又川	→ 輪島市 門前町 二又川	ふたまたがわ
鳳珠郡 門前町 字 皆月	→ 輪島市 門前町 皆月	みなづき
鳳珠郡 門前町 字 餅田	→ 輪島市 門前町 餅田	もちだ
鳳珠郡 門前町 字 矢徳	→ 輪島市 門前町 矢徳	やとく
鳳珠郡 門前町 字 八幡	→ 輪島市 門前町 八幡	やわた
鳳珠郡 門前町 字 渡瀬	→ 輪島市 門前町 渡瀬	わたげ

会員の動き・しゃばの動き

■てっちゃんの怪しい行動

3月下旬、人気の無い河原で大きな穴を掘っている。何かを埋めるのかと見ていると、何かを掘り出した。近寄ると、辺りは穴だらけで、掘り出したものは木くずだった。ヒラタクワガタの幼虫は、こうして見つかるが、確実に怪しまれるよ、浅地さん。

■3月24日、山裾めぐりでギフチョウ観察

嵯峨井氏、金沢から小松にかけて、春の恒例山裾めぐりを実施し、小松で初ギフを観察。マメザクラはチョロリ咲きだった。

■3月25日、蝶屋の姿ばかりなり

好天の下、前日の初観察に刺激され小松を目指したが、ギフチョウの姿は無く、嵯峨井氏、細沼氏、久慈氏など、蝶屋ばかりが目についた。

■チビクワガタは未発見

松井、井村、中西、浅地の各氏、加賀市の海岸近くでチビクワを探したが、見付かるのはキマダラヤマカミキリばかりなり。

■鹿兒島県南部でマーキングスタート

沖永良部、奄美、喜界などの島々で、3月下旬から4月2日にかけて、千頭を越すアサギマダラにマーキングされた。春の北上で、何頭が石川県を通過するのだろうか。

■金沢の桜は4月6日に開花宣言

今年の春は遅く、6日になってようやく桜が開花し、兼六園の桜は12日に満開。平栗のカタクリは、15日によって満開。

■ギフチョウの誤認求愛

ギフチョウの飛来ポイントに置いたボロ♂、と見る間に飛来した♂が、落ちるよ

うにからみついた。近づいても離れず、飛び立たず、完全に早と誤認しているようだ。効果抜群の採集法だが、飛来する♂が哀れに映ってならない。

■野田山でオオシモフリスズメ

野田山墓地で、坊さんがオオシモフリスズメを目撃。松井氏は即刻現地の街灯回りを開始し、富沢氏も小松で調査に乗り出した。

■26都府県完全制覇

幼少時に採集した東京都のギフチョウが標本箱にあったばかりに始まった都道府県産集め、この春に岡山県産を採集し、秋田から山口までの全26都府県産が標本箱に収まった。全てこの手に持った網で採集したと、豪語する指田氏であった。

■西部緑地公園に孵化殻多数

連休後半、ムラサキツバメは、そろそろ産卵したかとマテバジイの葉を裏返すと、孵化殻があった。次々とめくると、次々見付かる孵化殻。どうもおかしい。孵化殻がやけに汚れている。昨秋の孵化殻だった。

■白斑が大きくきれいな春型が羽化

1年前にトカチセセリから採卵した細沼氏、夏に羽化しなかったものが多数あってぼやいていたが、この春に羽化した個体を見て思わずうっとり。待ってて良かった。

■北帰行遅れる

今年は、季節の移ろいが例年より10日程ゆっくりで、サクラ、カタクリ、ツツジ、スナビキソウなどの開花も遅れぎみ。渡り鳥の北帰行も遅れているらしく、河北潟では、まだ冬鳥が観察できる。

■アサギマダラはハゲが好き

黒が嫌いなアサギマダラは、黒髪からは逃げようとするので、M氏はタオルを巻いてマーキングしていたが、最近は巻かなくても逃げなくなってきた。

■ 例会の記録 ■

4月6日(木) 浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、山岸氏が沖縄の情報紙「うるま」を紹介。2003年10月号は蝶特集で、ミカドアゲハが表紙を飾り、島へ島へと立松和平氏がいざない、石垣良いとこ住みんしゃいと入野夫妻も登場している。

その他の話題は、ムラサキツバメはいつ頃か、これが奥能登のアカコムラだ、ベーツヤサは夜間の花すくいで、トンボの標本作りは生き肝抜きから、人より高いアトラスオオカブトの暖房費、などなど。

今回は、浅地メッキで行う初例会で、参加は、中西、松井、富沢、竹谷、浅地、勝

海、井村、山岸、細沼の9人。

■ 例会の記録 ■

5月11日(木) 浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、廃菌床を使ったクワガタ飼育マットについて浅地氏が紹介。キノコを作る菌床は、おがこ、栄養体、水から作られているが、「オガコの粒の粗さ」と「栄養体の混合割合」が問題で、「ヒラタケ栽培用がクワガタに適している。また、発熱を伴う発酵の進み具合も重要。

その他の話題は、今年のウラゴマは羽化率が悪い、最北のギフは早過ぎた、マテバシイに孵化殻多数、海岸アサギの調査依頼、みどり色のウバタマムシ、自衛隊の演習場で叱られる、金平永二はカリスマ外科医、などなど。

参加は、松井、勝海、浅地、山岸、細沼、浅野、長田(新入会員)、井村の8人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

日吉芳朗：石川県旧輪島市におけるキマダラセセリ	1
日吉宏朗：石川県珠洲市でシータテハを採集	2
松井正人：アサギマダラの涙は肩板から	2
松井正人：2004年アサギマダラ日記	3
蝶談会事務局：輪島市・鳳珠郡門前町の合併に伴う住所表示の変更	6
編集部：会員の動き・しゃばの動き	9

翔 180号

Tobu 2006年 6月10日発行
百万石蝶談会
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

